

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	当院における ANCA 関連血管炎の発症年齢における臨床的特徴の検討 (B25-080)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部腎臓内科 講師 竹内 和博
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>急速に腎機能が増悪する代表的な疾患として、抗好中球細胞質抗体関連血管炎 (ANCA 関連血管炎) が挙げられます。この ANCA 関連血管炎は比較的稀な自己免疫性疾患であり、腎臓や肺などの臓器に血管炎を起し、特に腎臓では急速進行性に腎機能の増悪を呈して予後不良な経過を辿ります。</p> <p>ANCA 関連血管炎には顕微鏡的多発血管炎 (MPA)、多発血管炎性肉芽腫症 (GPA)、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) の 3 疾患が含まれ、本邦では特に MPA が多いですが、一方で欧米では GPA が多く、日本は独自の疫学調査が必要となります。また、ANCA 関連血管炎に対する治療として免疫抑制薬が使用されますが、それに伴い発症する感染症は、高齢者では特に重篤となり、生命予後悪化に寄与しています。日本では高齢化が急速に進んでおり、この問題はより深刻になっており、高齢者における ANCA 関連血管炎に対する治療の適正化が必要と考えられております。そこで当科では皆さん (2014 年 1 月 1 日～2025 年 10 月 31 日に ANCA 関連血管炎と診断された方々) の背景因子、臨床検査結果と腎生検所見を詳細に解析し、その後の治療や臨床経過を詳細に解析する予定です。</p>
調査データ 該当期間	2014 年 1 月 1 日から 2025 年 11 月 30 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2014 年 1 月 1 日～2025 年 10 月 31 日に北里大学病院腎臓内科において ANCA 関連血管炎と新規に診断された方。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報として、2014 年 1 月 1 日から 2025 年 11 月 30 日までの診療録に記載された病名、病歴、既往歴、年齢、身体所見、血液や尿の検査結果、腎生検結果、治療歴なども参照させていただきます。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究の遂行のための費用は医学部腎臓内科学の講座研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学 医学部腎臓内科学 講師 担当者：竹内 和博 (タケウチ カズヒロ) 電 話： 042-778-8111</p>
<p>備 考</p>	